



茨城県立緑岡高等学校グランドデザイン

「目指す学校像」と「令和6年度重点目標」

「目指す学校像」： 文武不岐の精神に基づく教育活動を推進し、高い知性とたくましい心をもって、社会に貢献する人材を育成する。

「令和6年度重点目標」：Ⅰ 生徒の主体性を引き出すカリキュラム開発と授業改善
Ⅱ 生徒の自己実現のための進路指導と進路選択の充実
Ⅲ アントレプレナーシップに基づく自己指導力の向上
Ⅳ SSH事業、国際交流事業及び社会貢献活動の推進
Ⅴ 働き方改革の実践及び、教職員の教育力の一層の向上

豊かな人間性

- ・探究活動の推進による豊かな心の涵養
- ・集団活動による人間関係形成能力の育成
- ・高大連携や国際交流事業による創造性の涵養

健康・体力

- ・授業や特別活動を通じた体力の向上
- ・授業や学校行事を通じた健康の保持増進

校訓 誠実 進取 協和

目指す生徒の姿（緑高3S）

- ・「探究的態度」によって自ら進んでしたたかに学び続けられる人材
- ・「柔軟な発想」によって他者と調和できるしなやかな心をもった人材
- ・「協和の精神」によって社会の発展としあわせの実現に貢献できる人材

資質・能力の育成

- ・探究的な学びによるコミュニケーション能力・批判的思考力の育成
- ・自ら問いを発し考えながら自走できる主体的な学習態度の育成
- ・全職員との連携・協働による主体性や自ら学びに向かう力の育成
- ・教科横断的な文理融合の学びによる自主性と創造性の育成
- ・社会や地域の課題を見つけ、解決するための資質・能力の育成

何を学ぶか ○教育課程の編成

- ・生徒の主体性を引き出すカリキュラム開発
- ・普通科の多様性に応える、探究を基礎とした教育課程
- ・理数科の専門性を生かす、探究を核とした教育課程
- ・主体的な社会参画のための自治的活動を推進する教育課程

どのように学ぶか ○教育課程の実施

- ・確かな学力を身につけるための授業の工夫・改善
- ・課題発見・課題解決のための協働的学びの実践
- ・主体的・対話的で深い学びのためのICT活用
- ・指導と評価の一体化のための実態に応じた評価の工夫

実施するために何が必要か (支援体制の充実、家庭との連携・協働)

- ・各学年及び校務分掌間の連絡調整の充実
- ・Classi等の活用による家庭との緊密な連携

安心・安全を守る

- ・校内施設設備の点検と危険箇所の修繕
- ・登下校の安全確保と安全教育の充実
- ・不審者対策と防災避難訓練の充実
- ・自尊尊重の精神の涵養といじめ防止教育の充実

開かれた学校作り

- ・学校公開やHPによる積極的な情報発信
- ・学校説明会や学校訪問の積極的な受入れ
- ・地域社会や地域諸団体との積極的な連携
- ・学校評議員等外部関係者との積極的協働